第10回・11回教育セミナー実施報告

一般社団法人　日本感染管理ネットワーク　理事　支部連携／教育担当
松本　千秋　　前田佐知子　　菊地　義弘

はじめに

当法人（ICNJ：日本感染管理ネットワーク）では，2010年より支部と連携し教育セミナーを開催している．
教育セミナーのテーマ・内容・講師については、当該支部会員の要望及び、これまでのアンケート結果をもとに決定し，2015年度は「疫学を中心とした講義・演習」の内容で2回実施した。
2015年度に実施した第10回（札幌），第11回（岡山）教育セミナーについて報告する．

開催概要

表１．テーマ、講師、開催日時・場所

セミナーテーマ		講義／演習テーマ	講　師	開催日時	会　場
【第10回】実践する、実践できるアウトブレイク調査 in札幌	講義	アウトブレイク疫学調査の基本ステップ	崎浜智子先生	2015.9.5.(土) 10:30～16:30	NTT東日本札幌病院
	演習	事例で考える医療関連感染アウトブレイク調査			
【第11回】ICTのための疫学･統計学のすすめ Basic in岡山	講義	ICTのための疫学･統計学のすすめ Basic	坂本史衣先生	2014.9.17(土) 10:30～15:35	岡山コンベンションセンター
	演習	データの整理と結果の考察			

参加者概要

崎浜　智子　先生
国際医療福祉大学大学院　准教授

表２．経験年数別参加人数（人）

	1年未満	1～5年	6～10年	11年以上	未回答	計
第10回（札幌）	5	14	13	1	4	37
第11回（岡山）	5	32	7	3	8	55
計	10	46	20	4	12	92

坂本　史衣　先生
聖路加国際病院
QIセンター感染管理室

アウトブレイク調査の演習

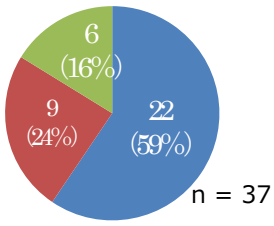

図１．参加者の勤務形態
（第10回：札幌）

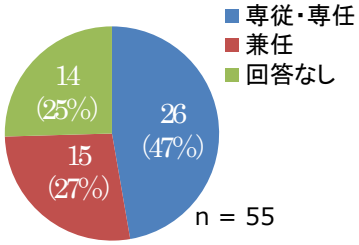

図２．参加者の勤務形態
（第11回：岡山）

データ整理の演習と結果の考察

アンケート結果

第10回（札幌）

アンケート回収率：91.9%（34／37）

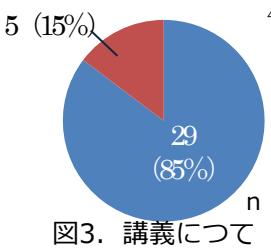

図3．講義につて

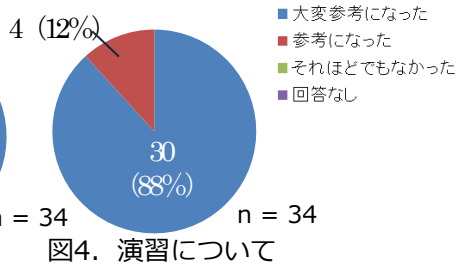

図4．演習について

第11回（岡山）

アンケート回収率：85.5%（47／55）

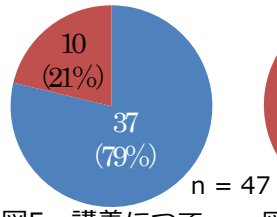

図5．講義につて

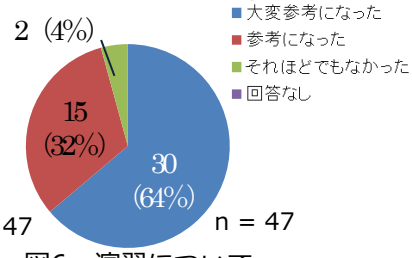

図6．演習について

まとめ

ICNにとって「疫学・統計学」「アウトブレイク調査」「サーベイランス」は，必須の知識・技術である．その一方で，日常的な実践とその理解については，経験年数や勤務形態によって差があることが示唆されている．したがって，このような演習を交えたセミナーは，ICNJの設立目的である「感染管理実践のスキルの向上と会員相互の交流と連携を通して医療施設における感染管理の実践を推進すること」に寄与するものと考える．
今後の教育セミナーにおいては，会員のニーズを把握し，さらに，これまでの開催で示された課題を解決しつつ，ICNJの取り組みとして継続していく必要がある．

謝辞：講師の崎浜智子先生，坂本史衣先生，開催支部におきまして調整・ご配慮を下さった支部担当の皆様，参加して下さった多くの会員の皆様には心より感謝を申し上げます．